

1993年4月、立命館大学産業社会学部助教授、2002年4月、同教授、現在に至る。

1. 専門演習の目標

五感を使ってイメージネーションを活性化させ、企画力・構想力を養う。

2. 専門演習で扱う課題と内容

京都をフィールドとしたリサーチを実施する。具体的な対象は2011年4月に決定する。

3. 授業の進め方・内容

3回生前期・後期では、資料の収集、文献読解、フィールドワーク、プレゼンテーション、シンポジウムの開催、報告書の作成というプロセスを体験する。

4回生時には、独自でテーマを発見し、卒業レポートを作成する。

4. 必要とする知識

特になし。

5. 関連する分野・科目・知識

「都市論」「都市政策論」を必ず受講してください。

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

「京都・素顔の住宅地」（リムゼミ編、淡交社、1996年）を読んでおいてください。図書館にあります。

7. 独自に付加する選考方法

特になし

8. 受講生に望むこと

体力と忍耐力を要します。ゼミに膨大なエネルギーを投入できる人をもとめます。